

れている人達がいます。 れて自然農法センターでの学びを伝えてく 的に活躍をしている人や、 た。就農した方々の中には、地元でリーダー の方々が学び、半数近くの方が就農しまし でに100名以上(2016年3月現在 年より研修生の受入を開始しました。今ま 自然農法センターの研修課では、平成2 研修生を受ける

いいたします。 います。皆様も応援をどうぞよろしくお願 見守っていただき、活躍を期待したいと思 し、掲載することにいたしました。 誌で紹介しながら応援する奮闘記を企画 ています。そこで、研修を修了した方を本 たくさんの研修生を輩出してきました 就農直後から様々な苦労に立ち向かっ 暖かく

るように、チュトワの名前をアイヌ語から そして、そんな神様から愛される農園であ 様とするので、 その頭文字を取って名付けたそうです。 チュトワ゛です。 しました。水稲27a、野菜24aを管理して 梨県北杜市の標高約950mの場所で就農 培コースで学んだあとの平成28年から、 についたニックネームはタカパン。 研修を修了した高井文子さんです。 でチュプ います。農園名は゛オーガニックファーム イヌの世界観は、 これから紹介するのは、 (陽)、 そんな農園であるように トイ(土)、ワッカ(水)。 あらゆる生物無生物を神 チュトワとは、 平成27年度本科 アイヌ語 研修中 野菜栽

サージの資格をもち、

店主をしていたタ

のニックネームはダーナ。タイ古式マッ

修を受講しましたが、

研修に来て知り合っ

た同期の村瀬麻里子さんと意気投合し、二 人で農園を切り盛りしています。村瀬さん

いただいたとのことでした。

タカパンは一人での就農を考えて本科研

張っています。

理していますが、

お互いにニックネームで

ダーナが水稲担当で管

力を合わせてどちらの作業も頑

カパンが野菜担当、

ダーナは水稲栽培コースで学んだので、

タ

イマッサージの店の名前がその由来とか。



薪風呂付きの古民家と納屋、玄関にはチュトワの表札

24



相まって、農業をはじめようと たそうです。そんなタカパンは、 きで、高校時代は授業よりも自 ら近所の人の畑で過ごすのが好 しをしたいと思っていたことも を抜けだしては川や畑に向かっ 然に触れていたいと感じ、授業 いつか自給自足や農のある暮ら タカパンは、子どものころか

なぜ農業をはじめたのですか?

語ります。 湿原保全のNPOと、農業とは 味があり、動植物調査の仕事、 る仕事でした。」とタカパンは てみると、 んでいました。でも、振り返っ 一見関係のないような仕事を選 「学生時代は動物や植物に興 全て植物に関係のあ

> そのうちの一つが、インター 縫って話を聞きに行きました。

の研修先を探し、仕事の合間を

「就農を決意してから、農業

ターです。見学した自然農法セ ネットで見つけた自然農法セン

豊かにする生産方法を探りたい 壊すような生産方法ではなく、 側に立ちたいという思いが強く 役は必要だけど、自分は生産者 事をしており、様々な生産者と 生産者だからこそ、自然環境を なってきたそうです。また、自 接する中で、コーディネーター 然環境の恩恵を真っ先に受ける なぐコーディネーターの様な仕 就農前に9年間働いたNPO 一次産業と自然環境をつ

話します。

ても興味深く見えました。」と

ンターの圃場での研究内容はと

けることになったのです。 後出会った農家の元で研修を受 ろ、できるだけ早く農家になり くれた職員に相談をしたとこ たタカパンは、見学を対応して てもらいました。そして、その いのではないかとアドバイスし たいなら農家での研修の方が良 一般農家での研修と迷ってい

らに疑問が膨らむことが多かっ 忙しさに追われる中では、 的ではありましたが、農家での が次々生まれても勉強する余裕 研修で学べることは多く、実践 の研修を受けました。農家での はなく、質問できたとしてもさ 2軒の野菜農家で合計8か月 思ったのです。

選んだのですか?

なぜ自然農法センターの研修を

たのです。例えば、土のこと、

多の野菜と少肥の野菜の中身はどうなっ るのか、なぜ野菜栽培の本や種の袋には 耕起と不耕起、 めた人の多くがなぜ途中で使うようにな ているのか?などです。 必ず石灰散布と書いてあるのか、 養分のこと、微生物の働き、植物の病気、 ポリマルチを使わずに始 肥料過

さが始まる前に実際に自分で色々と試し です。また、見てきた農家のような忙し たことを理解するヒントを得たかったの はなく、もっと根本的なこと、疑問に思っ の芽掻きの仕方や素早く収穫する技術で る気が全くしなかったそうです。 般農家での8か月の研修は終わりま 疑問は膨らむばかりで就農でき トマト



歴代の野菜栽培コース研修生とともに 左から 26 年度、タカパン、職員、28 年度 (2 名)

てもみたかったのです。 そこで、見学に行った自然農法セン

らい相談した結果、「そういうことをし ターの本科研修に応募したそうです。 たいなら、ここはぴったりだと思います が対応してくれ、じっくり話を聞いても ターを再び訪れました。前回同様の職員 よ」との言葉に惹かれて自然農法セン

研修ではどのようなことを学びましたか?

学び、 らったりできたことも、非常にありがた かったです。」と研修を振り返っています。 住んでいる集落の納涼会に参加させても の方に会って話を聞きにいったり、 ときに生かしたい学びでした。また、研 また、気持ちよく作業ができるようにと な考え方の軸を持つことができたこと、 スは、常に動きやすく、楽しく作業がで てもらいました。研修した野菜栽培コー ト栽培試験をして、様々な疑問を解決し 修を受けながら、農地を探したり、 後自分がサポーターを迎えて一緒に働く の心配りや段取りは学ぶことが多く、今 きました。栽培技術だけでなく、根本的 その話を受けて、研修を担当した職員 「研修中は自然農法の考え方や技術を 就農予定地の土壌を用いて、ポッ 現在

> う一面も持ち合わせていました。普段も 農することと決まっていたので、 おいしいものを見極めることができる鋭 わいくなるんです(笑)。料理も上手で、 かわいらしいのですが、酔うともっとか と感じていました。また、お酒好きとい 画的に実行できていたことも素晴らしい 選びや住居の検索、機械類の調達など計 い味覚を持っているのも印象的でした。 業も楽しんでいるようでした。目的が就

なぜ就農地に北杜市を選んだのですか?

染みのあった、八ヶ岳山麓を候補地の一 す。」と語ります。 空気がとてもよかったことが挙げられま 地を探しやすくなっていたこと、景色や 市の職員の方とつながりができていて土 の農家が北杜市だったこともあり、 つにしていました。また、最初の研修先 「子どものころから遊びに来ていて馴

りが理想と考えていた集落で、 等の事がタカパンの考える条件に合って の古民家と農地を借りることができたの いたのでしょう。 日照時間が長い、民家に囲まれていない 農業を営む点から考えても、水が豊富、 そこで、まさにこの辺 薪風呂付

就農して一番大変だったことは何ですか?

すね。」と短いながらも重たい口調で答 「畑に水が入り込んでしまったことで

に、

積極的な性格で機械操作や新たな作

に質問して理解を深めていました。

カパンの研修時代は、

疑問に思うとすぐ

は次のようにコメントをしています。「タ









大事に育ててきたトマト苗 いよいよ畑デビュー



出会った頃の タカパンとダーナ

です。「今後、もし新たに畑を借りる時

と心に誓った出来事でした。」と強く語っは、上の段に水田がないところにしよう

てくれました。

ずに、作物を作付できなかったことはと

とはとても重労働で、その苦労が報われは枯れてしまったとか。排水路を掘るこ

ても残念な気持ちになってしまったそう

遅れてしまい、すでに播いていた葉菜類

優先した結果、育てていた果菜類は植え

路を掘り、畑を乾かしましたが、

排水を

んでいく状態になってしまったそうです。

一歩踏み込めばズブズブと足が沈

半月かけて2枚の畑にスコップで排水



7月の宅配用野菜セット

野菜が揃ってきた

出遅れたものの、ようやく

笑っていられるのも今のうち この後、畑が水浸しになるなんて……

が出来上がり、

水はまったく引かず、

畑

あっという間に2反の広大なプール、上の段の水田から畑に水が流れ込



イベント出店-野菜を持って遠征に出かけることも

苦労話は……次号へつづく。お光の出来栄え、生活や販売についてのながら頑張っています! さて、野菜やながら頑張っています! さて、野菜やが、二人で力を合わせて農園を管理してが、二人で力をなるとは起こるのです

まれています。周りの皆さんが一斉に水タカパンが借りた畑はどこも水田に囲

など果菜類を定植しようとするタイミン

田に水を張る5月、

畑ではナスやトマト

(研修課 千嶋 英明